

りゅうせい 鎌上龍成さん 青年海外協力隊としてキリバスへ

鎌上龍成さん（柳沢）が、国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊として、今年1月からキリバス共和国に派遣されています。

青年海外協力隊は、開発途上国からの要請に基づき、それに見合った技術・知識・経験を持つ「開発途上国の人々のために生かしたい」と望む方に海外で活動していただくものです。鎌上さんは医療現場に従事していた経験から、公衆衛生に関する業務に携わる予定です。

鎌上さんは「病院で働いた経験を活かし、積極的に活動していきたいです」と意気込みを語ってくださいました。



「たくさんの経験を積みたいです」と鎌上さん（真ん中）



お気軽にご相談ください

人権擁護委員が委嘱されました

人権擁護委員は、地域の皆さんからの人権に関する相談や解決のお手伝い、「人権侵害」による被害者の救済活動を行っています。このたび西堀潤子さん（桜町）が委員に再任され、1月11日に法務大臣からの委嘱状が交付されました。

これからよろしくお願いします。

新春を祝う会を開催

1月4日、新春を祝う会が中央公民館で開催されました。新型コロナウイルス感染症が第五類に移行して初めての開催で、発起人を代表して町長が「今年は70周年となる節目の年。『なかやま温故知新～伝えられて・伝えていく～』をスローガンに掲げ、町民の皆様と共に、町の伝統や魅力を再認識する1年にしていきたい」と挨拶をし、参加した町の行政関係者や商工業・農業関係者は今年の抱負や展望について歓談しながら新春のひと時を過ごしました。




新年を祝って乾杯！



すももの漬物の試食が人気でした

地域おこし協力隊報告会を開催

1月20日、中央公民館で地域おこし協力隊の活動報告会が開催されました。今年度の活動の振り返りや来年度の目標を発表する場には町内外から約30名が参加し、隊員との交流を楽しんでいました。

第199話 俳諧⑫ 俳諧歌枕と俳諧発句 その2  中山町 歴史散策

先月号で紹介した文新田の服部文右衛門家の「俳諧歌枕」の序文については、短い文章ながら、俳諧人の名文といふべき口調のよさで統一されているのはさすがといえます。

末尾にある「享保戊申年」は享保13年（1728年）のことです。また、風草とは、西鶴岡の林風草こと「柳下斎菅谷風草」のことです。

ここで少し、芭蕉について述べると、元禄2年（1689年）春、芭蕉は江戸千住より「おくのほそ道」紀行に出発し、6月3日大石田から清川に下りました。この時、大石田の高野一栄らの句会に招かれて、「五月雨を集めて涼し最上川」の初句を挙げています。やがて狩川、手向を経て羽黒山に向かいました。途中で門人の近藤呂丸（芭蕉の三日月日記受領者）羽黒別当代会覧らの案内を受け、6月4日には羽黒で俳諧興行を行っていました。6月9日には、鶴岡の門人長山重行（元最上藩士、最上家改易により庄内酒井藩召抱え、150石）宅で興行された芭蕉の送別句会ともいふべきもので、そこに酒田の不玉も加わって、芭蕉、未寛、会寛、

曾良、重行、呂丸の顔が揃いました。芭蕉は、象潟に出て、6月18日に酒田に帰ると、土地の豪商燈屋惣右衛門（俳号 玉志）らと俳諧を行っています（『鶴岡市史』上巻）。

このように、大石田、羽黒、鶴岡、酒田と俳諧興行を開き、6月27日鼠ヶ関から越後に出、やがて大阪・京都を巡り、江戸に戻ったのは元禄4年のことでした。

芭蕉は「おくのほそ道」紀行に限らず、訪れた先々で門人、入門者、武士、商人、僧侶、神主、大百姓らを中心に俳諧を興行しているが、長山重行のように酒井家召抱えの後、江戸勤番を命ぜられ、既に芭蕉の門人となっていた例もあって、新旧取り混ぜた多くの俳人が県内には既に育っていたのであろうと思われまます。特に庄内では、流派はともかく、元禄時代には俳諧の動きが相当活発になっていたことがうかがえます（『鶴岡市史』上巻）。

※引用…中山町史 中巻

第10章第3節
文芸と美術工芸から

私たち地域おこし協力隊です！ No.65 

みなさんこんにちは！地域おこし協力隊の高橋です！

気づけば地域おこし協力隊として中山町に来てから、2年が過ぎようとしていることに驚いているとともに1年ってあっという間だなあと感じている今日この頃です。

先月1月20日に地域おこし協力隊の活動報告会を行い、今年度の活動で何を行ってきたかを報告させていただきました。今年度もSNSを使用した情報発信やスマホ教室、スマホよろず相談所などの活動をしてきました。それ以外にも、広報誌に掲載されている手話のイラストや旧柏倉家住宅の公式ホームページのリニューアルなども行いました。というような内容をお話しました。

人前で話すというのは思っている以上に緊張するものですね。もう少しハキハキ話せたほうがよかったなあと反省。来年度は地域おこし協力隊最後の1年になりますので、定住に向けた活動をメインに行っていきます。

改めて皆様今後ともよろしくお願ひします。



高橋 圭哉

出身地：宮城県岩沼市
趣味：けん玉、
アニメ鑑賞



●協力隊への問い合わせ先● 高橋 ☎662-2223（総務広報課）